

菊川市駅伝チームだより

令和6年12月2日



チーム目標「考え、学び合い、共に伸びる菊川市チーム」

予想を大きく上回る成果

記念大会となる第25回静岡県市町対抗駅伝において、菊川市は目標タイム(西風4mの場合)の2時間20分05秒を上回る2時間19分26秒という好記録で過去最高の9位入賞を果たしました。個人目標も風の影きょうが小さかったり追い風だったりした1~8区は、全員が達成しました。5mもの向かい風が吹いた9~12区は、全員目標を下回りましたが、これは私の設定ミスが原因なので、おおむね達成したといえます。1500m走に出場した小学生も3人とも目標を達成する素晴らしい走りをしてくれました。これ以上ない喜びです。

過去最高の11位だった昨年の大会直後、私は1年後の大会でタイムも順位も大きく落とすことを覚悟していました。理由は、「そのとき活やくした小・中・高校生の全員が最上級生だったので、翌年進学したばかりの1年生では十分力がつかないだろう。」と予想したことと、その前後の年代の層が薄かったことです。ですから、「令和6年に芽を伸ばし、令和7年に花を咲かせ、令和8年に実を結ぶ。」というように、3年後に大きな成果をあげるつもりでいました。



ところが、今年は1年生(特に高校生)が飛やく的な成長をとげました。また、昨年正選手として走る事ができなかった人がその悔しさをばねにして強くなったり、社会人になって菊川市チームに加入したりした人がいて、短期間で予想を大きく上回る成果をあげられました。

そして、来年以降もさらに記録や順位を塗り替えていくことが期待されます。

なぜ菊川市は成長し続け、本番にも強いのか

菊川市は、人口が市の部25チーム中19番目です。しかし、第23回に12位という好成績をおさめました。その後も第24回に11位、第25回に9位というように成長し続け、本番での強さも発揮しています。それは、なぜでしょうか。例えば以下のようなことがあげられます。

○目標意識

自己目標を決め、常に努力している。時々振り返りをして、改善している。



○家族の協力と支え

チームの方針や指導に理解を示し全面的に協力をしてくれている。また、子供たちを心身の両面で支えてくれるので、気持ちも前向きでいられ指導したことの吸収力が高い。

○恵まれた練習会場

400mトラックを使用。雨天などで使用できなくても、隣の球場の外周道路を使用可能。

○メディカルスタッフの支え

練習日や大会当日にメディカルスタッフがケアをしてコンディションを整えてくれる。

○常に大会を想定した練習

雨や強風のなかでの練習を経験し、どのような状況にも対応できるようにしている。

練習会に参加している人たちは、走力だけでなく、人としても成長しています。そして、人としての成長が走力の向上にもつながります。来年も多くの人の参加を期待しています。

【文責：北原弘明(かんとく)】